



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL https://www.itrade.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	985	△0.4	80	—	△20	—	24	—
2020年9月期第2四半期	989	9.0	△34	—	△72	—	△3	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 24百万円(—%) 2020年9月期第2四半期 △37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	3.42	—
2020年9月期第2四半期	△0.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	1,348	934	69.1
2020年9月期	1,420	909	63.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 932百万円 2020年9月期 907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00			
2021年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,391	8.9	149	670.1	58	—	19	△61.2	2.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	7,444,800株	2020年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	259,200株	2020年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	7,185,600株	2020年9月期2Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び機能性食材であるハナビラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2020年9月期 (前第2四半期)		2021年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	989	100.0	985	100.0	99.6
金融ソリューション事業	702	71.0	778	79.0	110.8
ビジネスソリューション事業	189	19.1	134	13.6	71.0
ヘルスケア事業	97	9.9	72	7.4	74.3
営業利益又は営業損失(△)	△34	—	80	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	—	24	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第2四半期の業績は、主力の金融ソリューション事業において増収となったものの、ビジネスソリューション事業及びヘルスケア事業において減収となった影響により、全体では前年同期比99.6%の985百万円と若干の減収となりました。一方、損益面においては、連結子会社であった株式会社デジタルアセットマーケットが持分法適用関連会社に移行したことによる費用の減少、株式会社インタートレードヘルスケアの不採算部門を整理したことにより、収益性が改善し、前年同期34百万円の営業損失から80百万円の営業利益、3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失から24百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益へと、それぞれ黒字転換しております。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	778百万円 (前年同期比 110.8%)
セグメント利益	262百万円 (前年同期比 150.7%)

当第2四半期においては、売上高は778百万円と前年同期比110.8%増収となり、また連結子会社であった株式会社デジタルアセットマーケットの持分法適用関連会社への移行により、費用が減少した結果、セグメント利益は前年同期比150.7%の262百万円となりました。導入済の次世代プラットフォームの機能拡張など、新しい技術とこれまで当社が培ってきた金融サービスを融合させ、Fintech分野における新たな成長領域の開拓を積極的に目指していきます。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	134百万円 (前年同期比71.0%)
セグメント利益	0百万円 (前年同期比44.1%)

前年同期間中に大規模拡張案件を受注したものの、当期においては受注活動が延伸し、売上高は前年同期比71.0%の134百万円となりました。売上高の減少に伴い、セグメント利益も前年同期比44.1%の0百万円となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケア（以下、インタートレードヘルスケア）の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	72百万円（前年同期比74.3%）
セグメント損失	34百万円（前年同期は61百万円のセグメント損失）

インタートレードヘルスケアの通販事業を前第2四半期連結会計期間中に売却した結果、当第2四半期の売上高は前年同期比74.3%の72百万円と減収となりましたが、収益構造が悪化していた不採算部門を切り離したことにより、セグメント損失は34百万円となり前年同期61百万円より改善しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、1,348百万円となりました。自己資本比率は69.1%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は219.8%となっております。

(資産)

総資産合計1,348百万円のうち、現金及び預金が605百万円（構成比44.9%）を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金246百万円（構成比18.3%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）80百万円（構成比6.0%）、投資有価証券148百万円（構成比11.0%）となっております。

(負債)

負債合計413百万円のうち、短期借入金が200百万円（負債合計に対する構成比48.3%）となっております。

(純資産)

純資産合計934百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,447百万円、自己株式△95百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、605百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは93百万円の収入（前年同期は243百万円の支出）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益40百万円、売上債権の減少額146百万円、持分法による投資損失104百万円であり、主な減少要因は、持分変動利益61百万円、仕入債務の減少額64百万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10百万円の支出（前年同期は18百万円の支出）となりました。

主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入5百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出12百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の支出（前年同期は263百万円の収入）となりました。

これは、リース債務の返済による支出4百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2020年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527,223	605,092
受取手形及び売掛金	393,268	246,520
商品及び製品	24,705	21,645
仕掛品	23,528	49,288
原材料及び貯蔵品	7,040	9,974
その他	58,611	63,599
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	1,034,368	996,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,620	8,753
機械装置及び運搬具(純額)	512	448
工具、器具及び備品(純額)	9,625	18,410
リース資産(純額)	23,106	27,414
有形固定資産合計	42,864	55,026
無形固定資産		
ソフトウェア	8,894	8,050
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	10,142	9,298
投資その他の資産		
投資有価証券	192,159	148,201
繰延税金資産	12,152	10,761
敷金及び保証金	124,440	124,440
その他	15,967	16,215
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	332,868	287,767
固定資産合計	385,875	352,091
資産合計	1,420,243	1,348,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,225	68,511
短期借入金	200,000	200,000
リース債務	9,178	12,665
未払法人税等	28,974	23,841
受注損失引当金	—	10,500
前受金	14,271	25,448
その他	100,696	46,404
流動負債合計	486,346	387,372
固定負債		
リース債務	17,108	17,903
退職給付に係る負債	7,168	8,508
固定負債合計	24,277	26,412
負債合計	510,623	413,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,472,499	△1,447,958
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	907,469	932,011
非支配株主持分	2,150	2,406
純資産合計	909,619	934,417
負債純資産合計	1,420,243	1,348,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	989,705	985,381
売上原価	658,780	652,890
売上総利益	330,925	332,490
販売費及び一般管理費	365,366	252,224
営業利益又は営業損失(△)	△34,440	80,265
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	66	66
助成金収入	—	4,009
その他	50	65
営業外収益合計	119	4,142
営業外費用		
支払利息	711	832
持分法による投資損失	37,758	104,348
その他	1	10
営業外費用合計	38,471	105,191
経常損失(△)	△72,792	△20,782
特別利益		
事業譲渡益	2,000	—
持分変動利益	42,514	61,147
新株予約権戻入益	220	—
投資有価証券売却益	—	66
特別利益合計	44,734	61,213
特別損失		
関係会社株式売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,058	40,430
法人税、住民税及び事業税	9,908	14,242
法人税等調整額	—	1,390
法人税等合計	9,908	15,633
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,967	24,797
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,253	256
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,713	24,541

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,967	24,797
四半期包括利益	△37,967	24,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,713	24,541
非支配株主に係る四半期包括利益	△34,253	256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,058	40,430
減価償却費	4,598	10,100
ソフトウェア償却費	1,906	1,754
その他の償却額	1,286	2,259
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	10,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,093	1,339
受取利息及び受取配当金	△68	△68
助成金収入	—	△4,009
支払利息	711	832
事業譲渡損益(△は益)	△2,000	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△66
持分変動損益(△は益)	△42,514	△61,147
新株予約権戻入益	△220	—
関係会社株式売却損益(△は益)	0	—
持分法による投資損益(△は益)	37,758	104,348
売上債権の増減額(△は増加)	△42,814	146,748
たな卸資産の増減額(△は増加)	△94,503	△25,634
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,152	△4,887
仕入債務の増減額(△は減少)	7,488	△64,713
未払金の増減額(△は減少)	5,271	△2,569
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	3,529	△4,286
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,914	△47,497
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△106,958	6,154
その他	—	△4,542
小計	△240,730	105,046
利息及び配当金の受取額	68	68
助成金の受取額	—	4,009
利息の支払額	△553	△931
法人税等の支払額	△4,975	△16,201
法人税等の還付額	2,892	1,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	△243,298	93,103

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,421	△12,444
無形固定資産の取得による支出	—	△910
投資有価証券の売却による収入	—	5,365
長期前払費用の取得による支出	△1,210	△2,508
事業譲渡による収入	2,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△40,057	—
関係会社株式の売却による収入	22,713	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,975	△10,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△18,740	—
リース債務の返済による支出	—	△4,737
非支配株主からの払込みによる収入	381,829	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	263,089	△4,737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	815	77,868
現金及び現金同等物の期首残高	693,149	527,223
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,304	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	593,660	605,092

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社デジタルアセットマーケットが、当社グループ外の企業に複数回の第三者割当増資を行ったこと等により、資本剰余金が127,157千円増加しており、当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金は996,567千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	702,830	189,421	97,453	989,705	—	989,705
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	122	122	△122	—
計	702,830	189,421	97,575	989,827	△122	989,705
セグメント利益又は損失 (△)	173,928	2,208	△61,378	114,759	△149,200	△34,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,200千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	778,580	134,425	72,375	985,381	—	985,381
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	21	21	△21	—
計	778,580	134,425	72,396	985,402	△21	985,381
セグメント利益又は損失 (△)	262,099	973	△34,231	228,841	△148,575	80,265

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,575千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。